別紙様式１

学校評議員会の実施報告書

ホームページへの掲載	
済・未	平成29年1月23日掲載

学校名　　岐阜県立大垣特別支援学校

校　長　中　村　政　年
所在地　大垣市西大外羽１丁目２２７番地１
電　話　０５８４－８９－４８１６

１　会議の名称
　岐阜県立大垣特別支援学校　学校評議員会（平成２８年度　第１回）

２　会議の構成
　学校評議員（敬称略）

坂　　忠　夫	大垣水都ライオンズクラブ会長
野　崎　重　光	日新地区センター館長
山　田　毅　彦	大垣市立柿の木荘所長
橋　本　聖　子	西濃圏域障がい者生活支援センター　相談支援専門員
堀　　保	大垣公共職業安定所統括職業指導官

　学校職員・保護者

中　村　政　年	校長
片　野　徹	事務部長
林　　正　治	教頭
新　川　教	教頭
水　谷　克	小学部主事
福　井　美　子	中学部主事
西　村　美　穂	高等部主事（普通コース）
和　田　喜　孝	高等部主事（職業コース）
樽　井　良　和	教務主任
水　崎　淳子	ＰＴＡ会長

３　会議の目的
　学校運営等について地域住民や関係機関の代表者等から幅広く意見を聴き、地域社会からの支援・協力を得て、開かれた特色ある学校づくりを推進する。

４　会議の開催
　平成２８年６月１５日（火）１４時３０分 ～ １６時３０分　　会議室

５　会議の概要
（１）学校長挨拶・学校評議員委嘱書の交付
（２）校内見学
・小学部授業参観
・中学部授業参観
・高等部普通コース授業参観
（※職業コースの授業参観は、第２回学校評議員会に予定。）
（３）自己紹介
（４）議案
・平成２８年度の学校概要及び経営方針の説明
・平成２８年度の各学部運営（方針と重点）
児童生徒の取組、活動の様子（各学部より）
・平成２８年度の学校行事計画及びＰＴＡ行事計画について
・平成２７年度の卒業生進路状況
・平成２８年度の使用教科書及び作業製品の価格について
・学校評議員の意見聴取
・連絡

（以下に会議での主な意見を記載します）

意見１	○子どもたちの笑顔が印象的だった。日新地区センターとしても、学校と地域が交流できる部分については、いろいろな形で積極的に進めていきたい。１１月２０日には、地区センター祭りがあるので良い機会になると思う。 （回答） ・地区センター祭りでの作業製品販売などを機会として、地域との関係を広げていきたい。地域とふれあえる機会をいただけてありがたい。
意見２	○居住地校交流については大事なことだと思うので、活動内容などの具体的なことが知りたい。 （回答） ・小学部では、今年度の本格的な交流はこれからであるが、交流の相手校と担任が事前に打ち合わせをして、保護者同伴で活動している。 ・中学部では、十数名が直接交流や間接交流を行っている。事前に打ち合わせを密にして、保護者と共に参加している。昨年度は、授業に参加したり一緒に調理をしたりして、楽しく活動することができた。
意見３	○一人一人の教育的ニーズを大切にしているということであるが、高等部のテーマ「働く人になろう」についてはどのように捉えているのか。 （回答） ・６月と１１月の作業の比較では、同じ作業でも全く違って見えるほどの進歩がある。「人に喜んでもらえるものを作る」という気持ちで生き生きと取り組み、日々の成長を目の当たりにしている。 ・「生き甲斐をもって生きる」ことを可能にするために、「社会に何らかの形で貢献できる」という気持ちがもてるようにしていきたい。人とのかかわりの中で、「何ができたか・なしえたか」という気持ちはとても大切なことだと考える。 ・職業コースの場合、企業は生徒を雇用するとどんなメリットがあるのか計算するなど、労働戦力として期待されている。普通コースでは、施設作業所への進路が多く、何かを作ることで社会とかかわりをもつ活動を行っている。重複障がい学級の生徒たちは、生産活動は少ないが生活を豊かにしていこうという気持ちで、自分らしさを大切にしていきたい。
意見４	・一般企業の声として、実習の際に生徒ができることは学校から説明してもらえるが、できないことも知りたいという意見がある。
意見５	・学校からの連絡帳に、毎日一つほめるコメントを書くというのはうれしい。どの学部でもぜひお願いしたい。

６　会議のまとめ

今回の学校評議員会では、はじめに授業参観をしていただいた。各学部の教室では、担当部主事が授業内容について説明を行い、次のようなご意見をいただいた。

・以前施設でかかわった子どもたちが、着実に成長している姿を見ることができた。
・なかなか話せない生徒に、仲間から「がんばれ」という声がかかったりしてよい雰囲気だった。
・授業の参観では、学校行事の見学とは違った一面を見ることができてよかった。
・教師の活気にあふれた授業がよかった。

次に、校長からの学校概要および経営方針で、来年度から当校は知的障がいのない肢体不自由・病弱の生徒が入学する併置化実施や、将来的な高等特別支援学校の県内整備も視野に入れた大きな過渡期にあることを紹介した。また、居住地校交流で地元の学校に交流籍を置いていることや、障害者差別解消法の合理的配慮への取り組みなどを説明した。

各学部主事より、児童生徒の活動の様子を「各学部の経営方針」や「学校だより」等を使用して説明した。また、学校行事計画や高等部の進路状況、ＰＴＡ活動についても概略説明を行った。

続いて、高等部作業学習の製品説明を行い、完成度や価格が適正であるというご意見をいただくことができた。同様に、教科書も手に取って見ていただきながら説明を行い、当校の児童生徒に適応していると評価していただいた。

このように、今回の学校評議員会では、当校の取り組みを評価していただくとともに、評議員として学校へ協力をしていきたいという具体的なご意見も多く、今後も一層地域との連携強化を図っていきたい。

本日、学校評議員の方々からいただいた貴重なご意見・ご提言については、さらに一つ一つ精査して、今後の学校運営に生かせるよう進めていきたい。